

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業点検・評価調書

4- -7

4-
-7

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	来訪者と地域住民との交流促進
	節	ホスピタリティの醸成		
事業(施策)名	7 地域と来訪者の交流促進		事業主体	佐渡市地域振興課
			関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市観光振興課、佐渡観光協会、佐渡連合商工会、佐渡を世界遺産にする会
事業実施期間	H28～H34			
事業概要	【事業目的】 来訪者と地域住民との交流機会を設定し、佐渡ファンの獲得を図る。			
	【事業内容】 祭り等地域行事に来訪者が気軽に参加できるよう、地域の受入体制を整備する。			
⑳ 事業計画と実績	【29年度計画】 大学等と連携した地域活性化実証事業 元気で魅力的な地域づくりを推進するため、地域と大学等が連携し、市の施策推進の後押しとなる長期的な活動を実施する場合、島内二次交通等相当額(活動協力費)の負担を応援する新たな仕組みを構築する。 活動する大学のグループ等の件数:10件以上、連携する地域の数:20地域等、参加者数(受入数):100人以上を目標とする。			
	【29年度実績】 活動した大学のグループ等の件数:12件 連携した地域の数:17地域等 参加者数(受入数):188人			
課題・今後の取組	【課題】 過疎化や少子高齢化により、集落運営や伝統芸能の継承が困難になるなど、人口減少に伴う地域コミュニティの弱体化が進んでいるため、外部人材等を活用し、地域課題の解決や地域活性化につなげる効果的・継続的な仕組みについて工夫・検討が必要である。			
	【今後の取組】 実施結果を検証し、大学や首都圏等の企業、地域おこし協力隊など、外部人材と地域とのマッチングを図り、連携・協働体制の仕組みづくりを行う。 平成30年度の実施に向け、地域等から外部人材の活用(受け入れ)について提案を募集し、審査したのち人材募集や人材誘致等の支援を重点的に行う地域等を決定する。			
事業評価	【事業の達成度】 (a・b・c)			
	【事業実施の効果】 (a・b・c)			
	【総合評価】 (A・B・C)			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。